



令和7年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和6年6月14日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東
 コード番号 9636 URL https://www.kin-ei.co.jp/
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)作田 憲彦
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員経理部長 (氏名)藤下 修 (TEL)06(6632)4553
 四半期報告書提出予定日 令和6年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年1月期第1四半期の業績(令和6年2月1日～令和6年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年1月期第1四半期	960	8.0	122	52.1	124	55.8	86	58.3
6年1月期第1四半期	889	13.7	80	65.1	79	52.7	54	15.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年1月期第1四半期	30.91	—
6年1月期第1四半期	19.53	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
7年1月期第1四半期	5,885	2,509	42.6
6年1月期	5,867	2,449	41.7

(参考) 自己資本 7年1月期第1四半期 2,509百万円 6年1月期 2,449百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
7年1月期	—	—	—	—	—
7年1月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和7年1月期の業績予想(令和6年2月1日～令和7年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,700	△7.3	100	△42.2	100	△42.0	60	△49.1	21.52
通期	3,490	△2.3	210	△17.9	210	△17.4	130	△16.1	46.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	7年1月期1Q	2,821,000株	6年1月期	2,821,000株
② 期末自己株式数	7年1月期1Q	32,909株	6年1月期	32,817株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	7年1月期1Q	2,788,117株	6年1月期1Q	2,788,375株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中における将来に関する事項は、当第1四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しました。先行きについては、世界的な金融引締めに伴う影響や海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっており、また、物価上昇、海外情勢、金融資本市場の変動等の影響にも留意する必要があります。

この間当社におきましては、事業全般に亘って顧客満足度の高いサービスの提供に努めるとともに、あべのアポロシネマへの集客、アポロビル・ルシアスビルにおける空室部分への後継テナント誘致に注力しました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業部門におきましては、“劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦”“名探偵コナン 100万ドルの五稜星”“変な家”“映画ドラえもん のび太の地球交響楽”“『鬼滅の刃』絆の奇跡、そして柱稽古へ”などの話題作を上映し、顧客誘致に努めました結果、収入合計は455,483千円（前年同期比18.0%増）、営業原価控除後のセグメント利益は73,861千円（前年同期比92.0%増）となりました。

不動産事業部門におきましては、後継テナントの誘致等による賃料収入の確保に努めた結果、セグメント全体の収入合計は505,146千円（前年同期比0.4%増）となり、セグメント利益は121,352千円（前年同期比4.5%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高合計は960,630千円（前年同期比8.0%増）となり、費用面におきましては、部門別業績管理の徹底により、諸経費全般に亘って鋭意抑制した結果、営業利益は122,639千円（前年同期比52.1%増）となり、経常利益は124,500千円（前年同期比55.8%増）、四半期純利益は86,169千円（前年同期比58.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、短期貸付金の増加等により前期末に比較して17,924千円増加し、5,885,481千円となりました。負債は、設備関係未払金の減少等により、前期末に比較して41,631千円減少し、3,376,221千円となりました。純資産は、四半期純利益など利益剰余金の増加額が配当金の支払い等による減少額を上回ったため、前期末に比較して59,555千円増加し、2,509,259千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和7年1月期の業績予想につきましては、令和6年3月15日に「令和6年1月期決算短信（非連結）」にて公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和6年1月31日)	当第1四半期会計期間 (令和6年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,248	89,886
売掛金及び契約資産	117,294	136,040
商品	4,081	4,943
短期貸付金	718,131	748,294
その他	51,797	65,255
貸倒引当金	△810	△850
流動資産合計	965,743	1,043,569
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,747,440	2,696,659
機械及び装置(純額)	45,193	43,535
工具、器具及び備品(純額)	73,408	64,459
土地	1,123,748	1,123,748
有形固定資産合計	3,989,791	3,928,402
無形固定資産	5,802	4,473
投資その他の資産		
差入保証金	850,372	850,372
その他	55,847	58,662
投資その他の資産合計	906,219	909,034
固定資産合計	4,901,813	4,841,911
資産合計	5,867,556	5,885,481
負債の部		
流動負債		
買掛金	113,456	143,260
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	75,000	300,000
未払法人税等	52,630	44,960
賞与引当金	9,300	21,300
その他	663,572	595,906
流動負債合計	1,263,959	1,455,426
固定負債		
長期借入金	243,750	-
退職給付引当金	65,349	66,084
受入保証金	1,554,040	1,564,710
資産除去債務	290,000	290,000
その他	753	-
固定負債合計	2,153,893	1,920,795
負債合計	3,417,852	3,376,221

(単位：千円)

	前事業年度 (令和6年1月31日)	当第1四半期会計期間 (令和6年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	1,965,230	2,023,518
自己株式	△112,167	△112,516
株主資本合計	2,441,419	2,499,358
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,284	9,901
評価・換算差額等合計	8,284	9,901
純資産合計	2,449,703	2,509,259
負債純資産合計	5,867,556	5,885,481

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 令和5年2月1日 至 令和5年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自 令和6年2月1日 至 令和6年4月30日)
売上高	889,359	960,630
営業原価	734,797	765,416
営業総利益	154,562	195,214
一般管理費	73,908	72,574
営業利益	80,653	122,639
営業外収益		
受取利息	454	695
保険差益	-	1,709
違約金収入	-	759
給付金収入	200	-
雑収入	19	21
営業外収益合計	674	3,186
営業外費用		
支払利息	1,436	1,321
雑支出	2	4
営業外費用合計	1,438	1,325
経常利益	79,889	124,500
特別損失		
固定資産除却損	344	140
特別損失合計	344	140
税引前四半期純利益	79,545	124,360
法人税、住民税及び事業税	27,098	41,762
法人税等調整額	△1,999	△3,572
法人税等合計	25,098	38,190
四半期純利益	54,446	86,169

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(令和5年2月1日から令和5年4月30日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
劇場収入	334,738	—	334,738	—	334,738
ビル共益費等収入	—	99,026	99,026	—	99,026
娯楽場及びその他事業収入	51,414	5,556	56,971	—	56,971
顧客との契約から生じる収益	386,152	104,583	490,736	—	490,736
その他の収益	—	398,623	398,623	—	398,623
外部顧客への売上高	386,152	503,206	889,359	—	889,359
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	386,152	503,206	889,359	—	889,359
セグメント利益	38,460	116,101	154,562	△73,908	80,653

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(令和6年2月1日から令和6年4月30日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
劇場収入	412,542	—	412,542	—	412,542
ビル共益費等収入	—	101,115	101,115	—	101,115
娯楽場及びその他事業収入	42,941	6,365	49,307	—	49,307
顧客との契約から生じる収益	455,483	107,481	562,965	—	562,965
その他の収益	—	397,665	397,665	—	397,665
外部顧客への売上高	455,483	505,146	960,630	—	960,630
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	455,483	505,146	960,630	—	960,630
セグメント利益	73,861	121,352	195,214	△72,574	122,639

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。